

前回9月8日の例会記録

出席の状況

会員数 56名(内出席免除 3名) 出席者数 40名 欠席者数 16名

出席率 74.07% 前々回訂正 87.27%

欠席者 福元, 位田, 加戸, 金子, 笠原, 菊井, 小橋, 児島, 永見, 仲田, 西岡, 大賀, 丹治, 植田,
(平野), (柏野)

ビジター

〈岡山RC〉中島 義雄 様

S.A.A.



原田会員

先日は母の葬儀に大変お世話になりました。無事つつがなく終わりました。ロータリーのみなさん、ありがとうございました。



末吉会員

グランヴィアまでたどり着きましたが、急な仕事で失礼致します。申し訳ございません。



相原会員

昨日の会員増強セミナーでは、益田から岡山までの遠距離を高橋峯男会員の車に同乗させていただき、ありがとうございました。

以上,3件 15,000円(累計 333,000円)

会長報告

会長 小松 忠 男

昨日、早朝5時10分発のバスに乗り、益田で開催された会員増強・ロータリー財団セミナーに参加してきました。初めに、松本ガバナーより「会員増強とポリオ撲滅は国際ロータリーとロータリー財団の第一目標」の話があり、ポリオ撲滅の講師として、第2830地区パストガバナー関根様より「最終局面を迎えるポリオとの戦い、私たちが今なすべきこと」と題して、全てのポリオウィルスを根絶する講演がありました。関根様自身、各国へ出かけ、ワクチンを接種されておられます。



We are this close to eradicating Polio.

幹事報告

幹事 鴨井 利 典

- ①美作RC創立50周年記念誌が届いておりますので回覧致します。
- ②ロータリーの友英語版のご案内を回覧致します。
- ③日台ロータリー親善会議より、台北国立故宫博物院の宝物展のご案内が届いておりますので回覧致します。



例会プログラム

イニシエーションスピーチ

日笠 伸之 会員

大饗さま、笠原さまからご推薦いただき、4月に入会させていただきました日笠伸之と申します。例会では毎回、様々な分野の方の貴重なお話を聴かせていただいたり、野球同好会やゴルフ同好会で楽しませていただいたり、とても充実した刺激のある日々を過ごすことができ、本当に良かったと思っております。ご推薦いただいたお二人に、この場をお借りして感謝を申し上げます。



生年月日は昭和50年9月19日で間もなく39歳になります。家族は妻と5才半の男の子と1才半の女の子の4人家族で、中区中納言町に住んでおります。実家は中区倉富で高校を卒業するまで過ごしました。

小学校でソフトボール、中学校で軟式野球、高校で硬式野球をやり、中学時代は県大会で3位になりましたが、今の時代では考えられないスパルタ的指導で、あの時の苦しさには比べられないという自信になっています。ちなみにポジションはずっとキャッチャーでした。

大学進学と同時に上京し、大学では、マーケティング論や流通論を専攻し、卒業後は大学院の修士課程に進み、流通について研究をしました。修士課程を終えて、今後学者を目指すにしても実務経験をしてからでも損はないだろうと企業に就職することを決め、就職活動を始めました。当時はまだ就職氷河期でなかなか就職が決りませんでした。セゾングループの1つである西友という総合スーパーに就職しました。

最初に配属されたのが練馬区にある、光が丘店の食品部門でした。西友は食品スーパーの出店を加速させようとしていた時期で、新入社員の大半が食品部門に配属されました。配属された光が丘店は西友の中でも売上が上位の店舗で、食品部門だけで売上が年間70億円ありました。私が最初に担当したのが、冷凍食品でした。冷凍食品は、在庫を保管する冷凍庫の中が寒すぎて、とにかく中に入るのが嫌で適当に在庫を把握し発注しようとして、先輩社員にこっぴどく叱られたことを今でも覚えています。

小売業の基本は在庫を把握することからで、売場の棚と倉庫にどのアイテムがいくつあるかを把握した上で、天候や気温をみながら客数予測、需要予測を行い発注し、それが納品され陳列するという流れの繰り返しです。入社2年目からはパンや卵や牛乳、乳製品といったいわゆる「洋日配」を担当することになりました。洋日配は、来店した消費者の大半が購入するアイテムで、絶対に欠品が許されません。欠品しそうになると近隣の系列店舗に在庫を確認し、トラックでもらいに行くことも年に何回もありました。結局4年間、同じ店舗でしたが、大学で学んだ理論を現場で実践できたことは貴重な経験になりました。売場を任されていたこともあり、「このアイテムをここにこのように並べればもっと売れるのでは」と自分なりに仮説を立てて検証を繰り返す中で、自分には商売のセンスがあるのではないかと錯覚するようになり、次第にバイヤーになりたいと思うようになり、本部に希望をあげていました。

入社5年目で初めて人事異動の辞令がでました。バイヤーの希望は叶わず、本部の社会環境グループという聞いたこともない部署への異動でした。モノを売ることにしか興味が無かった私にとって、商売とは無縁とも思える「環境問題」を扱う仕事は当初、戸惑いもありましたが、私は次第に「環境」にのめり込んでいきました。私がいた西友は、世界の小売業で始めてISO14001を認証取得した企業で、日経の環境経営度調査でほぼ毎年業界1位を獲得するなど、知る人ぞ知る業界のトップランナーでした。そのような部署でISO14001環境マネジメントシステムの運用を任せられ、本部の各部門そして北は北海道、南は佐賀までの店舗に対して情報を発信したり収集したり、時には全従業員を対象に教育したりと、事務局としてISOの維持及び管理を務めました。

この配属をきっかけに、環境に関する様々な本を読みましたが、中でも印象に残っているのがレイチェル・カーソンというアメリカの生物学者の女性を書いた「沈黙の春」という本です。この本は、人類史上において、環境問題そのものに人々の目を向けさせ、環境保護運動の始まりとなったともいわれていますが、女性が信念を貫き世の中を動かすということに感動を覚えました。環境部門在籍中には、日本チェーンストア協会の代表として東京都の環境保全推進委員会の委員も約2年務めさせていただきました。

環境部門にいた2年間で、私自身の価値観・人生観が次第に変化していきました。売場にいた頃は、来店した消費者に購入するはずではなかったモノをどうすれば1点でも多く購入してもらえるかということばかりを考えていましたし、世の中は大量生産・大量消費・大量廃棄で成立していると信じて疑いませんでしたが、環境部門に在籍すると、極端かもしれませんが、人間が欲求を満たすためには様々な犠牲を伴うのは当然で、地球環境もそのひとつであり、本当に経営と環境の両立はできるのか、何が正義で何が悪なのか次第にわからなくなっていき、悶々とした日々を過ごすようになっていました。そして、年齢が30才を迎えようとしていた私は、それまで身を置いた世界から一度離れることを決意しました。

自分自身を見つめ直そうと東京から故郷・岡山に戻り、これからのことを模索していた矢先、父が脳梗塞で倒れました。父はその1年前に介護施設を運営するための会社を立ち上げ、新しい施設を開設したばかりでした。私の叔父が長らく岡山駅の西口で精神科・心療内科の医院を開業しており、認知症の患者の方のためにいずれ認知症グループホームをやりたいとの想いがあり、その病院の理事を務めていた父がその想いを実現するために介護施設を自らが運営することにしたそうです。父は右半身に若干麻痺が残ったものの、日常生活に不自由はありませんが、そんな父の姿を見て、その事業が軌道に乗るまで手伝おうと今の会社に入りました。会社では、主に総務的な仕事と新規事業を任せられ、平成18年に最初の施設を開設してから今日までに県内に12箇所まで拡大することができました。今年度内にはどの施設も軌道に乗りそうで、私も一定の役割を果たせたのではないかと考えています。

まだまだ若輩者ではありますが、これからも諸先輩方のご指導をいただきながら、今までの経験を活かし地域・社会貢献に取り組んでまいりますので、よろしく願いいたします。

以上

クラブフォーラム

青少年奉仕委員会

青少年奉仕委員長 小松原 隆 代



〈地区補助金事業について〉

近年、青少年奉仕委員会は、地区補助金事業の実施を重点的に行っている。当クラブは、インターアクトが独立しているため、この事業に安心して1年を掛けることができる。

地区補助金事業の申請は、3月末までに、計画・場所の選定・業者見積もり等、そのすべてを完了することが原則である。そこで、計画を練って書類作成をするためには、どんなに遅くても2月から取り掛からなければ間に合わない。今年度を例にとると、昨年12月末に福島とのサッカー交流大会を終えてすぐに、今回の計画・予算を立てて申請しなければ、間に合わない状態であった。まして、今回の企画は、県下高校の学校行事等とも照らし合わせる必要があり、チラシ配布は、3～4月が必須となる。ロータリーの期をまたいで決定することが多いため、他のことには、手が回らない状態だった。今回の歴史フォーラムの企画は、単発ではなく、しばらく続けて欲しいというご意向が、学校及び当クラブ内からもあり、それが実現すれば、毎年大きな行事となる。

フォーラムの案内で高校を少し廻った中で受けた感触は、「地元」に特に目立った歴史がある地域の高校は、地元の歴史に関心が高く、色々な形で取り組んでいる」ということである。岡山で活動している当クラブとしても、『若者たちが岡山の歴史をしっかりと学び、岡山に愛着をもってもらう』ことが、地域発展につながり、地方離れる若者に歯止めをかけるひとつの方法になるのではないかと考える。その意味で、この歴史フォーラムは地元企業への貢献度も高く、また、ロータリークラブを若者に知ってもらういい機会となる。

地区補助金事業は、継続的なことをしてはいけないのではなく、「一度に、何年分も継続する申請をしてはいけない」、「継続することであっても、毎年新たに申請する場合はよい」と聞いている。できれば、次年度もこの歴史フォーラムを申請して、地域に大きく貢献したい。何事も、会を重ねる毎に上手になる。会を重ねることで、当クラブも高校生も成長して行くのではないかと考える。とすると、しばらくは当クラブの基本的な行事のなかに、ある程度パターン化して入れて頂き、皆で一緒に力を併せて開催できるように、しっかりお手伝い下さい。

〈クラブフォーラムの概要について〉

1. さん太ホールの案内
 2. 会場内と昼食場所の20階レストラン(終了後の懇親会含)
 3. 後援団体と表彰について
 4. 審査員構成 (白井洋輔先生・史学関係者・山陽新聞・テレビせとうち・当クラブ会員)
 5. 12月までのスケジュールと各担当
- 全員の皆様をご参加・ご協力下さいますよう、よろしくお願い致します。

高校生による岡山の歴史・文化研究フォーラム スケジュール表

週	9 月	10 月	11 月	12 月	担当
第1週	白井先生状況連絡済み 各高校文化祭訪問		クラブ会員の出欠確認 各校の担当会員を決める(1校2名) 昼食手配および懇親会打合せ	賞状作成 胸章準備(事務局に尋ねる)	学校担当
第2週	青少年奉仕委員会フォーラム 役割分担決定 各高校文化祭訪問	大会資料冊子の レイアウト考案	大会資料冊子仮編集	大会資料仕上がり確認 審査員に確認のご挨拶と資料送付	資料作成
第3週			メディア連絡(プレスリリース 作成) 資料を送って参加者最終確 認(担当教諭) ※印刷会社からの名簿を確認	各高校に確認連絡(参加者名簿の確認) 資料準備(学校毎に仕分ける) さん太ホール食事数最終連絡 さん太ホール・映像・装花、確認連絡 前日準備	資料準備 会場設営 当日受付 控室担当 舞台裏担当 講師接待 審査員担当 表彰担当 昼食準備 懇親会担当 審査員担当
第4週	参加申込はほぼ締切り	参加者詳細収集・ 個人情報 承諾書収集	映像連絡・装花連絡 大会資料本刷り さん太ホール食事数連絡	21日(日) フォーラム当日全員参加 ※当日、人数分の生徒のお茶を 用意	

★右枠の各担当をみなさんと受け持って頂きます。
当日のご参加が難しい方は、前日までの資料作成または資料準備にご協力ください。

クラブ情報

親睦活動委員会からのご案内

親睦活動委員長 入江 直人

「月見夜間例会開催のご案内」を皆様のレターボックスに入れております。月見夜間例会を9月29日(月)18:30より、ホテルグランヴィア岡山3階の「クリスタルの間」で開催いたします。配偶者の方をお誘いいただき、多数の方のご参加を、よろしくお願いたします。



会員増強委員会からのお願い

会員増強委員長 相原 利行

昨日(9月7日)、益田で開催された会員増強セミナーに参加してまいりました。日本全体ではここ10年間で、ロータリアンがおよそ3分の1も減っているという話を聞いてまいりました。しかし、私どものクラブでは目標の70名に向けて粛々と会員増強を進めたいと思います。先々週(8月25日)皆さまにお願い致しました「入会候補者紹介のお願い」の提出期限が9月29日となっております。残念ながら、まだ3名ほどの方からしか、ご提出いただいております。まだ、お声かけをしていただけていない方でも結構です。あくまで勧誘の候補者ということで、これからお声かけさせていただく方のリストを作成するという趣旨のもので、期限までに、皆さまのご提出をいただきたいと思っております。よろしくお願いたします。



2014-2015年度 国際ロータリー第2690地区 会員増強・ロータリー財団合同セミナー

幹事 鴨井 利典

2014年9月7日(日) 10:30~14:40 ホテルサンパレス益田にて開催
出席者：小松忠男・鴨井利典・相原利行・高橋峯男

地区の最重要課題である「会員増強」「ポリオの撲滅」に対して合同セミナーが開催され、上記4名が参加しました。

セミナー前半では、「最終局面を迎えたポリオとの戦い ―私たちが今なすべきこと―」というテーマで基調講演があり、後半は「会員増強」…会長・会員増強委員長、「ロータリー財団」…幹事・財団委員長に分かれてのセミナーでした。基調講演は、「あと3国となったポリオ流行国に対し、2018年に地球上からの根絶を宣言して最終アプローチを行う。根絶に失敗すれば10年以内に20万人が感染する。私達が行うべきは各クラブ1,500ドル以上の寄付、各地区DDFの20%以上の寄付、および地域の方々にポリオの根絶活動を理解してもらうことである。」という内容で、ポリオの撲滅に対する強い思いを共有しました。後半は「戦略的な会員増強」、「地区補助金をうまく活用しロータリーを広める」というテーマでセミナーが行われました。



例会情報

本日のメニュー (9月22日)

かぼちゃの冷たいスープ 鶏肉と木ノ子のソテー トマトソース ごぼうとれんこんのサラダ
デザート コーヒー パンとバター

次回のメニュー (9月29日) 月見夜間例会